

令和4年1月20日

関係機関の長 殿

東北大学高度教養教育・学生支援機構長
滝澤 博胤

教員の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび東北大学高度教養教育・学生支援機構では、教育内容開発部門 言語・文化教育開発室所属の教員（ドイツ語教育担当）を下記により公募いたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、貴機関関係者へのご周知方よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

敬具

記

CLC2022-G1

1. 所属：高度教養教育・学生支援機構 教育内容開発部門 言語・文化教育開発室
あわせて言語・文化教育センターに配属される
※勤務先：宮城県仙台市青葉区川内 41
2. 職種：講師 1名
3. 専門分野：ドイツ語教育またはその関連分野
4. 職務内容：
言語・文化教育センターにおける言語・文化教育向上のための業務に携わり、大学におけるドイツ語教育改革を進めるとともに、授業科目として、全学教育科目「ドイツ語」等の科目を担当する。
 - 1) 大学におけるドイツ語教育に関する研究と実践
 - 2) 他の教員と協力し、ドイツ語教育プログラムの研究開発
 - 3) その他、配属される言語・文化教育センターおよび高度教養教育・学生支援機構の業務に携わる
5. 応募資格：
 - 1) 学歴：博士の学位を有するか、もしくはそれに準ずる能力を有すること
 - 2) 教育歴：大学等におけるドイツ語教育の経験を有することが望ましい
 - 3) その他：① 職務遂行のために必要な教育・研究業績を有し、大学におけるドイツ語教育改革を進める意欲を有すること
② 国籍は問わないが、日本語を母語としない場合は、日本語運用能力に優れていること

6. 任期：任期5年（ただし、評価に基づき3年任期での再任可）
7. 採用予定年月日：令和4年9月1日またはそれ以降のなるべく早い時期
8. 待遇：本学就業規則に基づく
9. 提出書類：
 - 1) 履歴書（学歴、職歴）
 - 2) 教育・研究業績リスト（研究業績については著書、論文、学会発表、その他に分け、査読の有無を明記すること）
 - 3) 主要論文の別刷り（コピー可）3編程度と当該主要論文の概要（論文毎に300字程度）
 - 4) これまでの教育・研究業績についての概要（2000字程度）
 - 5) 本学におけるドイツ語教育に関する抱負（2000字程度）
 - 6) 推薦状 1通
 - 7) 6)の推薦者以外で、応募者について所見を伺える方1名の氏名、所属、連絡先
10. 応募締切：令和4年3月23日（水）必着
11. 選考方法：原則として書類審査の上、面接を行う（旅費は応募者の負担とする）
12. 問合せ先：
 - 1) 公募内容等について
東北大学高度教養教育・学生支援機構
言語・文化教育センター 准教授 カン・ミンギョン
E-mail: kang.minkyong.b1 * tohoku.ac.jp
 - 2) 書類提出方法等について
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41
東北大学教育・学生支援部学務課学務総務係
電話：022-795-7537 E-mail: iehe-kobo * grp.tohoku.ac.jp
（メールアドレスは、送信時に*を@に置き換える）
13. 応募方法：電子メールにて受け付ける
必要書類のファイルを上記のアドレス（iehe-kobo * grp.tohoku.ac.jp）に送付のこと。ファイルはパスワードをかけた pdf 形式とし、パスワードは別途電子メールで知らせること。
サブジェクト欄に「CLC2022-G1」と明記すること。
受理通知（受信直後に返信する自動送信メールではなく、本学担当者から送付するメール）を必ず確認のこと。受理通知を含め本学からの連絡はすべて、必要書類が送られてきた送信アドレスにメールで送られるので、必ずそのアドレスのメールをチェックし、また受理通知に書かれている説明に注意すること。
なお、送信日から2日後（土日祝日、その他休業日を除く）までに受理通知が届かない場合には必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。
推薦書について：推薦書は、応募書類とは別に電子メールで推薦者から直接送付のこと。
14. その他

- ・東北大学は共同参画を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎しています。
- ・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員30名）、青葉山みどり保育園（定員116名）および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園（定員120名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。
また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
- ・その他、本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>